

広報

# たまたみ

12  
2013 月号

No. 523  
平成25年12月10日

只見町文化祭……2～3

- ふくしま駅伝 / 敢闘賞を受賞 /  
平成25年度上半期財政状況 ……4～5
- 民生児童委員紹介 ……6～7
- 柏市と給食用食材の交換 他 ……8～9
- 町の話 ……10～11



## 今月の表紙

11月29日に朝日地区センターで草木染め教室が行われました。今回は染料にマリーゴールドの花とタマネギの皮が使われ教室は笑い声が絶えず終始楽しそうな様子でした。草木染め教室は今後も開催予定なので興味をお持ちの方はぜひご参加下さい。



# 第43回

# 只見町文化祭

## 自然首都・只見からの発信

### 只見ユネスコエコパークで地域を創造しよう

今年で43回目を迎えた只見町文化祭は町民体育館をメイン会場として11月3日、4日の2日間にわたり開催しました。朝日小学校鼓笛隊の素晴らしい演奏で開館し、開催期間中の入場者数は3400名となりました。これは昨年よりも約3割増しの入場者数で本場に多くの方に足を運んで頂いた文化祭となりました。

「只見ユネスコエコパークで地域を創造しよう」というメインテーマのもと、メインコーナーではユネスコエコパークの登録を目指した現在までの取組みや先日開催された地域シンポジウムの様子などがパネルなどにより紹介されました。また今年も昨年よりも体験コーナーが充実され、昨年も好評だった俳句・短歌づくり体験や折り紙体験の他にも若者文化コーナーではミサンガやキーホルダー作り、手工芸コーナーではペットボトルのキャップを使った米俵づくりなどが行われました。また、ふるさと只見人材





育成講座4期生によるヒロロコースター作りや  
 成果発表などのコーナーも来場者に好評でし  
 た。鉄道模型作りのコーナーではたくさん子供  
 たちが保護者の方と一緒に熱中しながら模型作  
 りを楽しみ、しめ縄作りやツル細工体験コー  
 ナーでは熟練の方が子供たちに作り方のコツ教  
 え子供たちは一生懸命に話を聞き作業に取り  
 組んでいました。

体験コーナーの他にも毎年人気の赤十字奉  
 仕団ともしび会によるチャリティーバザーや健  
 康チェックが出来るコーナー、只見高校生によ  
 る作品展示や映像作品の放映、東洋大学講師  
 を務める久野俊彦氏による只見町の戦国時代  
 の書物文化財を演題とした貴重な文化講演も  
 行なわれました。また、町下野球場では元プロ  
 野球選手の野口寿浩氏、和田孝志氏による野  
 球教室が開催されるなど様々な事を体験出来  
 た秋の2日間となりました。





▲只見町チームゴールゲートで集合写真



▲10区の目黒大成選手

昨年45位  
↓  
今年は**38位!**

# 第25回ふくしま駅伝 順位大幅アップで敢闘賞を受賞!!

11月18日に開催された第25回ふくしま駅伝で只見町チームが総合順位で昨年の45位から38位へと大きく順位を上げて敢闘賞を受賞しました。白河総合運動公園から福島県庁までの16区間、95・1キロメートルのコースで53チームが出場した中、本当に素晴らしい成績だと思います。今年の只見駅伝チームは中学生や高校生が中心の若いメンバーで9月中旬から夜間の合同練習を重ね大会に臨みました。11月21日には目黒町長にふくしま駅伝の結果報告に来て頂き、監督の目黒公二さんやコーチ兼選手の目黒文雄さんは「今回の大

会は中高生の頑張りが目立った大会だった。選手一人ひとりが頑張る地道に順位を一つずつ上げてくれた結果、今回の成績になった」と話して頂きました。選手の方々がサポートして頂いた皆さん本当に疲れさまでした。また、テレビなどで只見町チームを応援して頂いた町民の皆様もありがとうございました。

## 只見町チーム 個人成績

区間	氏名	所属	タイム
1区(4.0km)	鈴木 菜美	只見中1年	14分58秒
2区(8.2km)	飯塚 拓真	只見高3年	30分21秒
3区(5.8km)	星 風吹	只見中2年	20分42秒
4区(7.3km)	菅家 将志	只見高3年	27分06秒
5区(6.7km)	鈴木 佑汰	只見高3年	24分54秒
6区(8.3km)	大束 一臣	只見ホーム	30分49秒
7区(5.2km)	鈴木 道也	只見中2年	18分04秒
8区(4.1km)	鈴木 遥大	只見中2年	15分02秒
9区(3.0km)	目黒 百華	只見中3年	12分11秒
10区(9.3km)	目黒 大成	只見高1年	30分53秒
11区(3.9km)	飯塚 奈央	只見高2年	15分20秒
12区(7.0km)	印南 春樹	印南板金	25分50秒
13区(4.8km)	梁取 陸	只見中3年	17分41秒
14区(5.7km)	服部 勇	只見高1年	21分45秒
15区(3.4km)	山内 花	只見中1年	13分10秒
16区(8.4km)	鈴木 達也	南会津高3年	27分55秒



▲敢闘賞受賞報告のようす



◆一般会計（歳入）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	収入済額	収入率
1	町 税	957,668,000	534,297,027	55.79
2	地 方 譲 与 税	69,000,000	18,136,000	26.28
3	利子割交付金	700,000	345,000	49.29
4	配当割交付金	200,000	165,000	82.50
5	株等譲渡所得割交付金	1,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	40,000,000	24,832,000	62.08
7	自動車取得税交付金	11,000,000	5,114,000	46.49
8	地方特例交付金	841,000	841,000	100.00
9	地方交付税	2,499,646,000	1,792,392,000	71.71
10	交通安全対策特別交付金	1,000,000	504,000	50.40
11	分担金及び負担金	26,314,000	10,321,730	39.23
12	使用料及び手数料	30,614,000	15,904,762	51.95
13	国庫支出金	180,315,000	35,492,252	19.68
14	県 支 出 金	1,739,681,000	532,429,446	30.61
15	財 産 収 入	21,656,000	9,129,453	42.16
16	寄 附 金	3,002,000	2,074,501	69.10
17	繰 入 金	659,144,000	192,317,000	29.18
18	繰 越 金	81,160,000	81,160,937	100.00
19	諸 収 入	100,869,000	74,705,527	74.06
20	町 債	690,000,000	0	0.00
	合 計	7,112,811,000	3,330,161,635	46.82

◆一般会計（歳出）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	支出済額	執行率
1	議 会 費	83,701,000	50,520,704	60.36
2	総 務 費	1,267,141,000	849,708,236	67.06
3	民 生 費	1,680,677,000	445,637,499	26.52
4	衛 生 費	520,929,000	179,824,145	34.52
5	労 働 費	13,000	10,211	78.55
6	農 林 水 産 業 費	551,960,000	106,100,331	19.22
7	商 工 費	338,890,000	156,074,041	46.05
8	土 木 費	523,987,000	100,881,832	19.25
9	消 防 費	265,344,000	134,659,923	50.75
10	教 育 費	430,768,000	210,663,371	48.90
11	災 害 復 旧 費	1,019,531,000	66,544,769	6.53
12	公 債 費	382,176,000	193,863,657	50.73
13	予 備 費	47,694,000	0	0.00
	合 計	7,112,811,000	2,494,488,719	35.07

◆特別会計

（単位：円、％）

会計名	予算額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入率	支出済額	執行率	
1 国民健康保険事業	551,719,000	248,559,488	45.05	281,492,139	51.02	
2 国民健康保険施設	465,488,000	111,327,949	23.92	210,639,301	45.25	
3 後期高齢者医療	127,459,000	17,144,500	13.45	57,212,481	44.89	
4 介護保険事業	604,747,000	271,677,569	44.92	290,009,039	47.96	
5 介護老人保健施設	246,800,000	77,269,032	31.31	136,882,610	55.46	
6 訪問看護ステーション	18,000,000	2,484,489	13.80	8,980,291	49.89	
7 地域包括支援センター	12,000,000	766,720	6.39	5,178,127	43.15	
8 簡易水道	297,000,000	31,490,070	10.60	127,619,573	42.97	
9 観光施設事業	68,375,000	0	0.00	22,973,809	33.60	
10 交流施設	44,600,000	0	0.00	26,001,453	58.30	
11 集落排水事業	325,000,000	44,461,070	13.68	158,121,042	48.65	
12 朝日財産区	14,100,000	9,888,478	70.13	117,500	0.83	
	合 計	2,775,288,000	815,069,365	29.37	1,325,227,365	47.75

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、平成25年度上半期（4月1日～9月30日）の予算の執行状況をお知らせします。

平成25年度一般会計当初予算は、現年度予算62億6,600万円です。スタートしましたが、4回の補正で71億1,281万1千円になりました。この他に前年度から繰り越した予算が15億6,181万1千円ありますので、総額86億1,899万9千円となっています。

歳入のうち地方交付税を平成24年度と比較してみますと、普通交付税（7月に交付額算定）が23億9,964万6千円となり、前年度対比3,493万円の減となっております。特別交付税（平成26年3月に交付額決定）についても、例年度並みの交付を見込んでおります。

（※地方交付税は、「普通交付税」と「特別交付税」に分かれています。）

主な事業内容は、小規模介護施設整備事業Ⅱ3億6,692万円、南会津地方環境衛生組合

負担金Ⅱ1億8,776万円、ユネスコエコパーク推進事業Ⅱ2,585万円、中山間地域等直接支払事業Ⅱ2,085万円、克雪対策事業補助金Ⅱ2,700万円、集会所施設整備事業Ⅱ9,622万円、広域圏消防費負担金Ⅱ1億4,242万円、防災行政無線更新事業2,152万円、只見高校振興対策事業補助金Ⅱ1,776万円、過年度災害復旧事

業（農地農林業施設、公共土木施設）Ⅱ9億5,964万円などです。

歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。

# 12月1日から地域福祉活動の担い手 民生児童委員が新たに委嘱されました

民生児童委員の二斉改選により、新たに三十二名の民生児童委員と二名の主任児童委員が決定し、厚生労働大臣、福島県知事より委嘱状が交付されました。任期は平成二十五年十二月一日から三年間です。

民生児童委員は、社会福祉の精神をもって、多様化する地域福祉の諸問題に取り組みます。

主任児童委員は児童福祉に関する事項を専門的に担当します。委嘱状の交付後、民生児童委員協議会総会が開催され、会長に横山圭子さん、副会長に目黒良平さん、藤田希恵子さんが選出されました。

## 民生児童委員



会長 横山 圭子さん  
担当地区 橋戸



副会長 藤田 希恵子さん  
担当地区 新町



副会長 目黒 良平さん  
担当地区 塩ノ岐



目黒 より子さん  
担当地区 田中



矢沢 順子さん  
担当地区 原



目黒 ハナエさん  
担当地区 宮淵・上町



須佐 ひろみさん  
担当地区 叶津・入叶津・八木沢



鈴木 雅子さん  
担当地区 新屋敷



菅家 トヨ子さん  
担当地区 只見沖



本名 ムツさん  
担当地区 蓮ノ原



目黒 ミヤさん  
担当地区 沖・根木沢



菅家 喜佐男さん  
担当地区 黒谷入



目黒 由実子さん  
担当地区 舘ノ川・黒沢



五十嵐 イミ子さん  
担当地区 塩沢・十島



三瓶 キクエさん  
担当地区 蒲生宮原・寄岩



五十嵐 アキ子さん  
担当地区 蒲生居平・久保



三瓶 秀樹さん  
担当地区 長浜・荒島



目黒 敬子さん  
担当地区 熊倉・亀岡・深沢



渡部 新喜さん  
担当地区 小川上



栗木 理恵子さん  
担当地区 小川下・荒井原



渡部 永子さん  
担当地区 下福井



堀金 太一さん  
担当地区 上福井



木津 貞子さん  
担当地区 黒谷町



梁取 祝久さん  
担当地区 坂田



角田 利枝子さん  
担当地区 大倉下



佐藤 則子さん  
担当地区 大倉上



矢沢 英也さん  
担当地区 二軒在家



山内 ふち子さん  
担当地区 梁取



角田 たかえさん  
担当地区 小林下



平山 久美子さん  
担当地区 小林上



渡部 千重子さん  
担当地区 全域



赤塚 洋さん  
担当地区 全域

主任児童委員は、民生児童委員と連携して児童・家庭問題の相談などに取り組みます。

## 主任児童委員



菅家 友徳さん  
担当地区 布沢下



梁取 美鈴さん  
担当地区 布沢上

## 民生委員・児童委員とは

～お気軽にご相談ください～

地域に暮らす方々が安心して生活できるように、日々の暮らしの中で困ったり悩んだりしたことを相談できる相手です。地域の一員として皆さんと一緒に生活しながら、皆さんの立場に立って心配ごとや困ったことを解決するお手伝いをします。

子育てのこと、学校のこと、介護のこと、経済的なことなど、皆さんの秘密は守りますので、お近くの民生委員・児童委員にお気軽ににご相談ください。

なお、民生委員は児童委員を兼ねていることから、民生児童委員とも呼ばれます。

## 主任児童委員とは

～子どもに関することを専門に担当～

主任児童委員は、子どもの福祉に関して次の事項について取り組んでいます。

- ①子どもの福祉に関係する機関との連絡調整
- ②児童委員の活動に対する援助・協力
- ③児童委員とともに乳幼児をもつ親の子育てに関する活動や、児童の福祉に関する活動

## 民生児童委員の職務

～あなたの心配ごとをお手伝いします～

民生児童委員・主任児童委員の役割を一言で言うと「援助を必要とする人が、その能力に応じて自立した生活ができるよう相談に乗ったりサービスの利用を支援したりすることです。」

皆さんの立場で親身になって相談に乗ったり、心配ごとを解決するために関係機関との連絡調整役を務めます。

それらの活動をするために次の、七つのはたらきがあります。

## 民生委員・児童委員の

～7つのはたらき～

一 社会調査のはたらき(アンテナ的な役割)

担当区域の住民の実態や福祉ニーズを、日常的に把握します。

二 相談のはたらき(世話的な役割)

地域住民が抱える問題について、住民の立場に立ち親身になって相談に乗ります。

三 情報提供のはたらき(告知板的な役割)

社会福祉の制度や福祉サービスについて、その内容や情報を住民に的確に提供します。

四 連絡通報のはたらき(パイプ的な役割)

住民が個々の福祉ニーズに応じた福祉サービスが受けられるよう、関係機関や団体等に連絡し、必要な対応を促します。

五 調整のはたらき(潤滑的な役割)

住民の御福祉ニーズに対応し、適切なサービスの提供が図られるように支援します。

六 生活支援のはたらき(支援的な役割)

住民の求める生活支援活動を自ら行い、また支援体制をつくっていきます。

七 意見申のはたらき(代弁的な役割)

活動を通じて得た問題点や改善策についてとりま活動を通じて得た問題点や改善策についてとりま関係機関などに意見を提起します。

七つのはたらきを実践するために、民生委員・児童委員は定例会を月一回開催し、地区別懇談会等により地域の状況を共有するとともに、各種研修会、勉強会を実施し、福祉サービスの内容などを確認しています。

また、教育委員会と連携し「カルガモ・クラブ」の運営に携わり、子育て支援活動を行っています。



カルガモクラブでの七夕の様子

その他にも、地域支え合いの担い手として、日々の訪問活動や、社会福祉協議会が行う事業への協力など精力的な活動を行っています。



お楽しみ昼食会の様子

### 給食で郷土の食材を交換

## 柏市の小学校給食に「只見の米」

11月19日、柏市立柏第八小学校の給食で只見町のお米が振る舞われ、只見町内の学校では柏市の小かぶを使った浅漬けが提供されました。これは「ふるさと交流都市」を結ぶ柏市と食を通じた交流を図るため昨年か  
ら行われている事業です。

柏市の小学校へは米の生産者である鈴木忠さんが訪れ、米を生産している場所の写真など児童達に見てもらい只見町の米の美味しさや安全性などを話されました。

児童からは只見の米は「甘くておいしい」という意見が多く、喜んでもらえました。



▲只見のお米をたくさん食べる児童と鈴木さん(右)

### 地域の将来像を描く

## 土地利用計画ワークショップを実施

11月28日、只見地区センターで只見地区(大字只見)土地利用計画のワークショップが行われ、只見地区の役員の方や、商工・観光団体、婦人会など25名が参加し意見を出し合いました。

これは、役場庁舎建設計画、駅前  
の商工振興などの課題を大字只見地  
区の土地利用を考えていく中で、地  
域の将来像を描いていこうと今年度  
から始まった取り組みです。町では別  
に只見町国土利用計画の改訂を進めて  
おり、12月中旬に町民の方々にアンケ  
ートの記入をお願いいたしますので、届  
いた方(無作為に抽出で1,000  
人)はご協力をお願いいたします。



▲様々な意見が出たワークショップ

### 災害記憶を後世まで

## 浸水深標識を設置

只見町区長連絡協議会では浸水  
深標識を町内に24箇所設置しま  
した。これは、平成23年7月新潟・福  
島豪雨災害の記憶を後世まで伝え  
る為、また、災害の防備に対する意識  
を持つて頂く為に設置されたもの  
です。これらの標識を見ることで防災  
意識を高めて頂ければと思います。



▶八木沢区の石柱



▶只見区駐在所前の看板

### 只見線応援ウォーキング企画

## 「ここちいい散歩を開催

11月17日、JR只見線の早期全面  
開通を願った企画の一つであるここち  
いい散歩が開催されました。只見駅  
をスタートした参加者は各駅付近で  
休憩を取りながらゴールの大塩で会  
津川口駅からスタートした参加者と  
合流しました。ゴールではマトンや芋  
煮などが振る舞われ参加者同士の交  
流を深めました。



▲当日は天候にも恵まれ自然を楽しみながらの散歩となりました



## 日本赤十字社から 献血協力団体に表彰伝達

11月26日、献血協力団体に対する表彰伝達が只見町内で行われ只見高等学校が「金色有功章」、ティーエヌアイ工業株式会社社会津工場は「銀色有功章」を受賞しました。

これらは長年にわたり献血場所を提供するなど献立事業に協力してきた事に対する功績として贈られたもので、「金色」は15年以上、「銀色」は20年以上の協力で受賞されるものです。また今回、役場も献血活動に協力してきた事に対して日本赤十字社福島県支部より感謝状を頂きました。今後も引き続き、助け合いによる皆様のご協力をお願いします。



▲金色有功章を受賞した只見高等学校



▲銀色有功章を受賞したティーエヌアイ工業株式会社 社会津工場

## こども教室で防災訓練を実施

3地区で開催しているこども教室では消防署職員を招き防災訓練を実施しました。

地震にあった時はどうしたら良いのかや、避難訓練、水消火器による消火訓練、実際に煙を室内に充満させての訓練など学校では体験する事が難しい事も行なわれ子供たちやこども教室スタッフにとっても勉強になった防災訓練となりました。



▲水消火器による消火訓練のようす

## 第51回只見町小中学校音楽祭

11月7日、只見中学校体育館において第51回小中学校音楽祭が開催されました。この発表に向け休み時間などを使い一生懸命に練習を重ねてきた成果がどの学校も十分に発揮されていました。今年話題になったあまちゃんのオープニングテーマの合奏や只見線50周年を祝っての合唱などが披露され観客の皆さんを楽しませてくれました。



▲大勢の観客の前で素晴らしい発表をする児童たち

## 自分達の手で町をきれい 朝日地区ちよぼらゴミ拾い

11月10日、朝日地区秋のちよぼらゴミ拾いが行われました。小雨の降る中でしたが年齢を問わず多くの方に参加して頂き、11袋の燃えるゴミ(20kg)と3袋の燃えないゴミを集める事が出来ました。

ちよぼらゴミ拾いは春にも予定しておりますので、今後ともご協力頂きますようお願いいたします。



▲参加して頂いた皆さん ありがとうございます



只見保育所(11月22日)



朝日保育所(11月29日)

## お 3地区保育所で ゆうぎ会

3地区の保育所ではおゆうぎ会が行われ、どの保育所もホールはこの日を楽しみにしていた保護者の方などでいっぱいになりました。年長のさくらさんの劇では、方言を使ったり、おせち料理の意味などを教えてくれる内容でその可愛い姿とは反対にしっかりした劇の内容に驚かされた素晴らしいおゆうぎ会でした。



昭和保育所(11月21日)

## 明 第9回会津の編み組工芸品展で 和民芸保存会2名の作品が受賞

10月19日「第9回会津の編み組工芸品展」の表彰式が三島町で行なわれ、明和民芸保存会の角田弘芳さんが南会津町長賞、梁取住栄さんが只見町長章を受賞されました。今回の工芸品展には、応募人数98人、計584点の作品の応募がありその数ある応募作品の中で見事に今回の賞を受賞されました。



▲受賞された梁取さん(右)と角田さん

## ボ 小林明朗見守り隊 ランティア活動で表彰状

明和小学校の児童が安全に登下校出来るように毎日欠かさず見守り活動を行ってきた小林明朗見守り隊が、福島県学校保健会会長より表彰されました。小林明朗見守り隊は小林老人クラブの方が中心となり平成20年2月に創設された団体です。

これからも子供たちの安心・安全の為、見守り活動をよろしく願いいたします。



▲見守り隊員の角田さん(右から2番目)と橋川さん(右から3番目)

# ブナセンター講座 「ツキノワグマの生態と 付き合い方」



11月10日(日)、山崎晃司 氏(茨城県自然博物館)をお招きし、ツキノワグマについての講演会が行われました。

講演は、「ツキノワグマはどういう動物なのか?」その生態についての説明と、今起きているツキノワグマと人との軋轢(あつれき)(仲が悪くなる事)について、ツキノワグマの生態や生息状況などもふまえて、私たちはどういった「付き合い方」を考えていけばいいのか、というお話でした。

クマの仲間は、巨大な犬歯を持つ“食肉類”に分類され、もともと肉食だったものが、樹上生活に特化し、植物を食べるように変化していった過程が、発達した臼歯から伺えます。世界にクマの仲間は8種類生息しており、生息場所によって、肉食、昆虫食、極端に偏った植物食、雑食と多様な環境に適応しています。日本には、そのうちの2種類、本州にツキノワグマ(アジアクロクマ)と北海道にヒグマが生息しています。



▲盛況だった講演会のようす

ツキノワグマと人との軋轢について、農作物への被害や民家周辺の出没が増えた要因として、冬眠前の重要な食糧となる堅果(けんか)(クリなど堅い皮に包まれた果実や種子)の豊作年・不作年のほか、中山間地域の集落が無くなってきている事や

里山の利用が無くなったことで、クマが生息する森林と人の生活圏の緩衝地帯が消失してきていることが挙げられました。

また、一度楽に餌を確保できる餌場を覚えてしまうと、山に戻らずにその周囲で生活するようになるというお話もありました。只見町では、農作物への被害はほとんどありませんが、民家周辺の栗林に通うクマや、養蜂の巣箱が荒らされるなどの被害が確認されています。

人身事故の割合や傾向についても関東の事例をもとにお話があり、レクリエーションなどでクマの生息域に



▲只見町内で目撃されたツキノワグマ

立ち入った際に遭遇した割合が高く、堅果の不作だけが事故の要因ではないということがわかりました。

最後にツキノワグマに「出会わない」ために私たちが気を付けることと、出会ってしまった時のための対処法などのお話の他、山崎さんが、クマの調査中に襲われそうになった話や針葉樹に含まれる成分で酔っぱらったクマの映像なども見せて頂きました。

当日は30名の方が聴講され、ツキノワグマに対する理解を深める講座となりました。

# 広報ただみ診療所

朝日診療所

医師

中曽根悦子



## 結核って昔の病気？

第二次世界大戦の終了後、順調に低下してきた日本の結核患者数は、1980年代に入り、減り止まり傾向にあります。

最近の日本の年間結核罹患率は、人口10万対17人ほどで、他の欧米先進国に比べて約4倍ほど多い状況です。

そもそもどのように人類に結核が広がったのか気になりますね。

エジプトなどのミイラにみられる結核性脊椎炎の所見から、結核は古くから人の感染症としてあったことが知られています。狩猟民族よりも人口密度の高い農耕民族で流行しやすく、産業革命などを契機に交通手段の拡大と共に蔓延していったとされています。

現在は、簡単に言うとな若者と高齢者の2つのタイプの結核があります。結核に、感染してすぐに、微熱・咳・痰が出現するタイプと、昔の感染が年齢を重ねて抵抗力が落ちた時に発病する2タイプです。

一方、結核菌に暴露されると100%感染が成立してしまうかというところではありません。免疫力が低下していると発病しやすいといわれており、100人暴露された場合、約90人は発病しません。

2か月以上の長引く咳・痰・微熱などの症状や、検査のレントゲン異常などをきっかけに検査をします。痰の検査やレントゲン・CT、時にはもつと進んだカメラの検

査などをして、結核菌を見つけると診断に至ります。

治療は、抗菌薬が有効です。沢山の薬を長い間内服しないといけないので、副作用にも注意が必要です。ごくまれに、通常の治療が有効ではない特殊な耐性菌も近年では問題になっています。そのような場合は、治療薬に工夫が必要になります。

長引く咳・痰・微熱など気になる際は、診療所にご相談ください。



## 今月の運動

今月は膝痛予防の運動をご紹介します。

膝まわりの筋肉が弱くなると、膝痛のもとになったり、足が上がりにくくすり足になったりします。冬は特に活動が低下する季節ですので、筋力が弱くならないよう予防体操できると良いですね。



足を上げて5秒止めて、ゆっくりおろす。  
膝を伸ばし、つま先を自分のほうへ引き寄せるようにしましょう。

10回以上が目安となりますが、体調に合わせて調整していきましょう。

# 町史

とっておきの話

233

只見町文化財調査委員

飯塚 恒夫

## 町民が生んだ只見の宝「民具」③

### 民具収集のはじまり (その2)

民具収集のはじめのころは、各公民館が独自の方法で行っていました。公民館部長の協力はもちろん、民芸品保存会の老人グループの応援も得ながら、各集落の情報提供、現地案内、収集作業などに携わってもらったのです。このような活動をする中から、民具に関心を持つ町民が徐々に増え、情報や民具そのものが町民の方々から提供されるようになりました。

ところが、収集場所の旧電発診療所が解体されることになり、移転場所を探さなければならぬことになったのです。それは昭和四十五年前後だったと思います。三地区の公民館で収集した民具は、それぞれの公民館が確保した施設に移転させましたが、その後も転々と引越しを繰り返すことになりました。(下表参照)。

収集時には、一点ごとに名称と寄贈者名をつけて保管していたのですが、移動するたびに本体が痛んだり、名札がなくなったりと取扱いの苦勞は、たいへんなものでした。



▲ 明治百年記念事業での民具展示(昭和43年旧只見公民館)

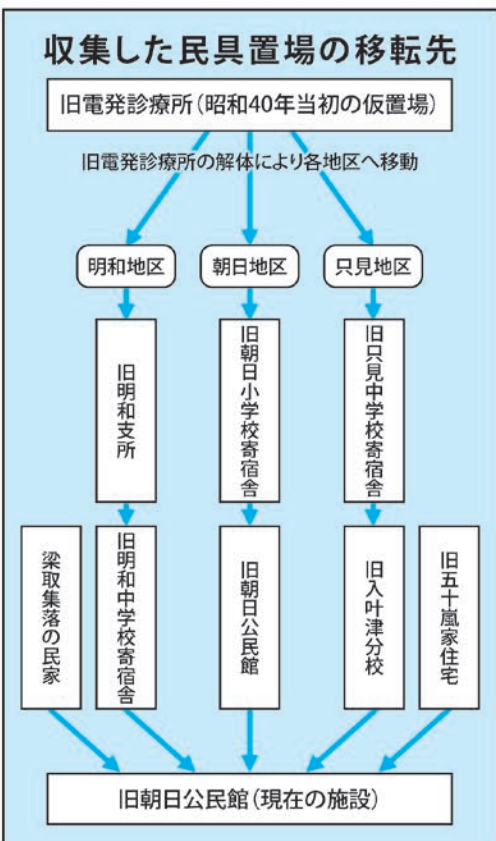
ここで、民具収集の第一期(昭和四十年〜六十年代)の主な動向をたどっておきたいと思えます。

昭和四十三年の明治百年記念祭に郷土資料展を開き、収集した民具を展示するとともに、『図説只見の歴史』に収録しています。翌四十四年八月十二日の集中豪雨によって、四つの集落が移転するのを機に緊急民俗調査を実施し、同時に民具収集も行っています。また、四十五年、猪苗代町に歴史民俗資料館が開館するなど、民具に対する人々の関心は年々高まっていました。

その当時、ある民間業者が集落に特定の収集者を依頼し、有料で民具を集め、町外に持ち出すということがたびたびありました。無償で提供してもらった収集方法に危機感をもった公民館は、特定の民具を一時借用して流出を防いだこともあったのです。

町では、四十七年に「只見山村民俗センター構想」を企画し、叶津地区を予定地として、その一帯に五十嵐家住宅を移築復元し、叶津番所を保存するとともに、民俗資料館を整備する方針でしたが、幻の計画に終わりました。

昭和五十二年、明和公民館では、民具を明和中学校寄宿舎に移転した折、一階を展示室、二階を収蔵庫として整備しま



昭和五十八年には、南郷農業改良普及所の指導で、明和地区の高齢者対策として明和文化クラブが結成され、三か年にわたり民具の活用を含む民俗調査に取り組みました。その成果は、『むらの思い出』にまとめられ、同六十二年、明和の民俗を語る会として発展させ、民具の収集活動と一部整理も行っています。

このようにして二十年余にわたって収集されてきた民具は、旧寄宿舎など町内数か所の仮置場に未整理のまま保管されてきました。この民具が本格的に整理され活用されるには、平成元年の町史編さん事業の着手を待つことになるのです。



# 町民文芸

## 只見短歌会

十月詠草

大塚栄一

指導

病院で会ひたる友がわが顔の瘦せしを言ひてまたも触れたり

古川 英子

ひと時を呼び交すごと嫋は風吹くやうに次々に鳴く

小倉キミ子

講演で越後と会津を語る会聞きたび歴史よみがへり来る

関谷登美子

定まりし昼寝のうちに夕立の降りきて干し置く豆みな濡らす

馬場 八智

今年の文化祭にも晴れたりと今亡き父との峠路思ふ

新国由紀子

過疎の地の文化祭にも黒人の団体見えて握手を交す

渡部ゆき子

工事半ば陰になりつつ児童等の通行するを案じ見送る

目黒 富子

弟の病気の重くなりしより米寿の兄の言葉減りたり

五十嵐夏美

勤め終へ数年たてど今もなほ整理の出来ぬ家の中なり

渡部ヨリ子

老衰の夫の食事を病もつわれより時かけ娘養ふ

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

十一月例会

目黒十一

指導

代替わりあつきり切らる柿落葉  
美人女医白衣の眩し秋麗

リウコ

都

栗の毬足でさばいて頬かむり  
ダム湖水左右にゆれて台風去る

一穂

代々の漬物石や冬に入る  
林檎来る太陽いっぱい詰め込んで

洋子

初雪や今こそ決心すべき事  
窯場へと道坂がかる秋海棠

礼

塀白き庫裏や大根吊るされて  
未枯やそこはかとなく風流れ

信

継之助の夢の塩沢一葉落つ  
なにもなく起きる幸せそぞろ寒

邦男

実南天日毎輝き晴れつづく  
駅伝の走者見え来る薄紅葉

大袈裟に丸太で包む冬囲い  
炬燵から雪降る庭木眺め居る

藤彦

又壺歩

菊の花摘む母の背の丸きこと  
垣添いに菊の花咲く空家かな

恒夫

小字七戸の三戸は無住冬紅葉  
只見線鉄路の錆や谷紅葉

吉見

水輪幾重のどやかに添ふ番鴛鴦  
日を受けて目薬紅葉緋と映ゆる

邦夫

薬箱備えて長き冬に入る  
持て余す十一月の積もり雪

修一

雪吊の黒松一本すつと立つ  
我が家にも干柿下がる新時代

# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
民生課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

## 税 今月の納期

12月25日までに  
納めましょう

- 国民健康保険税(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)
- 後期高齢者医療保険料(5期)
- 介護保険料(6期)

## RECRUITMENT

### 募集

#### 平成26年度 只見町奨学生

優秀な人材を育成するため、無  
利子で奨学資金をお貸しします。  
希望者は、次の事項に留意されお  
申し込みください。

#### ●対象及び条件

▽平成26年度に高等学校・短期大  
学・大学又は各種学校に進学を  
希望される方で、品行が正しく、  
学術に優れ、身体強健であるこ  
と。

▽貸与を希望される方の、本籍又  
は住所が只見町に引き続き6カ  
月以上有すること。

▽経済的理由により、就業が困難  
と認められること。

#### ●利用可能貸与額

▽高等学校  
月額二万二千円以内

▽私立大学 月額四万円以内  
▽国公立大学・短期大学及び  
各種学校 月額三万円以内  
▽支度金(4年制大学に限る)

大学入学時 三十万円以内

#### ●奨学資金の返還

奨学生は、卒業もしくは退学・奨  
学金辞退等の月より6カ月の返還  
準備期間をおき、7カ月目から8  
年以内に月賦で返還していただき  
ます。

#### ●募集要項の設置場所

教育委員会、朝日・明和地区セン  
ター 只見中学校、只見高校、南会  
津高校、町内の郵便局東邦銀行只  
見支店、J A会津みなみ只見支店  
に設置してあります。

#### ●募集受付期間

平成26年2月14日(金)まで

#### ●奨学生の採用決定

審査決定後、本人に通知します。  
通知は3月中旬頃になります。

#### ▼問い合わせ

教育委員会事務局学校教育班  
☎0241-82-5320

### 保健師等をめざす 奨学生

次の職種をめざす方で将来町の  
施設で業務に従事しようとする方  
に対し奨学資金を貸与します。

#### ●対象となる職種・条件

保健師、助産師、看護師、放射線  
技師、理学療法士、作業療法士  
※法に基づき指定された前項の職  
種の養成施設に在学または在所  
し、国または他の団体から同種類  
の奨学金の貸与を受けていない方

#### ●貸与額 月額10万円以内

#### ●奨学資金の返還及び免除規定

奨学資金貸与条例により  
▽原則として10年以内に返還。  
▽ただし、一定の期間内に資格を取  
得し、資格取得後直ちに町の機  
関に就職し、その後引き続き10  
年以上当該業務に従事したとき  
は返還の債務が免除されます。

#### ●申込手続

申請書等は申し込みのあった方  
に直接送付しますので保健福祉課

### 農業者をめざす 奨学生

将来町で農業に従事するため農  
業後継者育成を目的とする学校に  
在学する方に、その修学に必要な  
資金の一部を貸与します。希望者  
は、お問い合わせください。

#### ●対象者

福島県農業総合センター農業短  
期大学校、財団法人日本農民教育  
協会鯉淵学園に在学している者。  
※進学予定者も受け付けます。

#### ●応募期限

平成26年2月21日(金)必着

#### ▼問い合わせ

産業振興課農林班  
☎0241-82-5230

へご連絡ください。なお、進学予定  
の方も受け付けます。  
●募集期間  
平成26年2月14日(金)まで  
▼問い合わせ  
保健福祉課保健班  
☎0241-84-7005

#### ●応募方法

奨学資金貸与申請書に、住民  
票、履歴書、健康診断書並びに申  
請者が在学する学校長が発行した  
入学以後の学業成績表、学業及び  
人物に対する所見を記載した推薦  
書を添付し、産業振興課農林班に  
提出してください。

#### ●奨学資金の返還及び免除規定

奨学資金を希望される方は産業振  
興課農林班までご連絡ください。

#### ●貸与額

月額 10万円以内

#### ●奨学資金の返還及び免除規定

学校を退学した場合や卒業後に  
農業に従事しない場合は返還義務  
が生じます。ただし、卒業後直ちに  
町内において農業に従事し、その後  
10年以上農業に従事した場合は返  
還が免除されます。

## 平成26年度保育所 入所児童募集

平成26年度の保育所入所児童を募集します。

### ●入所基準

平成26年4月1日現在で満1歳以上で、保護者が仕事などをしていするために保育ができない児童

### ●募集定員

- ・只見保育所 60名
- ・朝日保育所 60名
- ・明和保育所 60名

### ●申込み受付期間

平成25年12月27日(金)まで

### ●受付場所

只見・朝日・明和保育所、朝日・明和地区センター、役場窓口、保健福祉センター

### ●申込書類

保育所入所申込書、保育申告書(受付場所に用意します。)

※以前提出された入所申込書の「保育の実施を希望する期間」が平成26年度も申込まれている場合、今回は保育申告書のみ提出ください。また、12月現在退所されている児童は申込みが必要となります。

### ▼問い合わせ

保健福祉課福祉班  
0241-84-7010

仕事に就くことへの不安があるなどの理由で社会への第一歩を踏み出せないでいる若者や、そのことに関して心配しているご家族に気軽にご相談いただける就労支援施設です。

職場体験や履歴書の書き方講座など、様々なサービスを無料で提供し、個別的、継続的に職業的自立を支援します。希望者には臨床心理士による心理カウンセリングも実施しております。

また、現在パソコンのワード・エクセル無料講習を実施しております。基礎から応用まで社会で役立つスキルを短期間で身につけることができますので、お気軽にご相談ください。

●対象：15歳～39歳までの若者と  
そのご家族

●場所：会津若松市一箕町大字亀賀藤原52 ヨークベニマル二箕町店 隣接テナント

### ●利用時間

平日午前10時～午後7時

### ▼問い合わせ

0242-32-00110  
Email: info@job-sapo.com

# 町長の手帳

## 町長スケジュール <11月分>

- 1日 南会津会施設訪問(郡内施設巡回)
- 2日 二本木橋開通式
- 3日 只見町文化祭開館式、野球教室開会式
- 4日 JR只見線関係首長会議
- 5日 東北農政局との意見交換会、ふくしま駅伝結団式
- 6日 国道252号雪国ゆめ街道期成同盟会地方要望活動、只見町商工青年部との懇談会
- 7日 只見町農業再生協議会総会、町長を囲む座談会(下福井集落)
- 8日 只見・金山・昭和期成同盟会
- 9日 ただみ新そばまつり
- 10日 JR只見線応援シンポジウム
- 11日 ゲートボール協会昼食会
- 12日 国民健康保険法施行75周年記念式典、JR只見線復旧に関する沿線市町村長協議
- 13日 渡部恒三氏胸像除幕式、平成25年度納税表彰式、JR只見線復旧に関する沿線市町村長協議
- 14日 エコパークプロジェクト会議、町長を囲む座談会(小川集落)
- 16日 まるごと南会津観光PRフェア
- 17日 ふるさと只見会懇談会
- 18日 ダム発電関係市町村全国協議会理事会
- 19日 只見町議会11月会議、ひとりぐらし昼食会
- 20日 全国町村長大会、管内町村長懇談会
- 21日 只見金山昭和消防相互応援協定打合せ会、ふくしま駅伝結果報告
- 22日 南会津を拓く最重要要望活動、食生活改善推進委員会表彰祝賀会
- 23日 下郷ホーム開設30周年式典
- 25日 朝礼、庁議、区長連絡協議会懇親会
- 26日 福島県町村会役員会、県知事との懇談会
- 27日 湯ら里役員会、教育委員との懇談会
- 28日 平成25年度只見町戦没者慰霊祭、奥会津アドベンチャー抽選会、只見町職員採用候補者2次試験(看護師、保育士、土木)、町長を囲む座談会(櫛戸集落)
- 29日 只見町職員採用候補者2次試験(一般事務)

## 「継続は力なり」

ふくしま駅伝大会において、只見町チームが敢闘賞を受賞した。タイムも順位も昨年より大幅に向上。二ヵ月にわたる自己鍛錬と合同練習、目標を持って取り組んできた努力が実った。町外の人達からも称讃の声をかけられ私たち町民にとって誇らしく大変うれしいことであり、感動を与えてくれた選手諸君に感謝申し上げます。大会が終わった今も朝早く暗い中を走っている人がいる。走るという習慣を毎日の生活の中に組み入れ、継続することは本当に素晴らしい事だと思う。

先頃、町ゲートボール大会の納会に顔を出させてもらう機会があった。百歳の二名の方が、今もゲートボールを現役で続けられている事を知り、元気な様子で席上で感謝状を受け取られておられたが、これも大きな驚きだった。「継続は力なり」百歳のお二人はもとより、会員皆さんがこれからもなお一層お元気にプレーされることを願っております。

二週間にわたったの水道の水質異常には朝日地区の多くの方々大変ご迷惑をおかけしてしまいました。復旧作業に昼夜を通してあたって頂いた関係者の方々、そして寒い中の給水活動に携わったの方々。とりわけ地域の方々には深いご理解とお心遣いを頂きました。また、お年寄りや車の運転ができない方への気配りもして頂き、給水活動ができたことに感謝申し上げます。いよいよ雪の季節の到来ですが、ご自愛願います。

只見町長 目黒 吉久



# 町民の消息

(11月1日～11月30日届出分) 敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

松 永 瑛 祐 (男/孝一・真紀) 只見  
 河原田 啓 睦 (男/友成・綾子) 只見  
 鈴木 遥 真 (男/直・裕美) 小川  
 菅家 壮 真 (男/智史・雅美) 黒谷  
 酒井 詩 文 (女/文高・治子) 坂田

## ■ご結婚おめでとうございます

只見 赤塚 公仁♡千葉県 松岡 奈々  
 南会津町 佐川 英太♡黒谷 五十嵐 舞

## ■おくやみ申し上げます

菊 地 安 行	78歳	梁 取
若 林 慶 次	80歳	十 島
渡 部 夕 ヨ	71歳	小 川
目 黒キョウコ	81歳	只 見
目 黒 絢 子	74歳	黒 沢
目 黒 鶴 吉	89歳	大 倉

# 人のうごき

平成25年11月1日現在

人 口 4,674(-12)  
 男 2,265(-2)  
 女 2,409(-10)  
 世帯数 1,819(-4)  
 高齢化率 42.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5 転出 13 出生 2 死亡 6

▽この時期になると「年賀状」を作らなければと毎年思うんですが、毎年作るのが遅くなってしまいます。▽いつから年賀状文化が始まったのかと疑問に思い調べたところ、年賀状の起源は奈良時代頃までさかのぼるようです。また、現在の年賀ハガキの形は明治33年に私製はがきの取り扱いが始まった事により活発になったとの事。

▽歴史ある日本の伝統文化「年賀状」。そう思うとこの文化を残す為、頑張って作らなければと思いました。

(吉津)

## あしがき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

地区センター長  
馬場 博美

只見地区センター  
図書室 ☎82-2141

# おすすめ新着図書

## ★ロスジェネの逆襲



池井戸潤/著

(ダイヤモンド社)

人事が怖くてサラリーマンが務まるか! ドラマ化も果たした「半沢直樹」シリーズ第3弾となる『ロスジェネの逆襲』は、バブル世代の主人公が飛ばされた証券子会社が舞台。親会社から受けた嫌がらせや人事での圧力は、知恵と勇気で倍返し。ロスジェネ世代の部下とともに、周囲をあっと言わせる秘策に出る。直木賞作家による、企業を舞台にしたエンタテインメント小説の傑作!

## ★政と源



三浦しをん/著 (集英社)

東京都墨田区Y町。つまみ簀職人・源二郎の弟子である徹平(元ヤン)の様子がおかしい。

どうやら、昔の不良仲間が強請られたためらしい。それを知った源二郎は、幼なじみの国政とともにひと肌脱ぐことにするがー。弟子の徹平と賑やかに暮らす源。妻子と別居しひとり寂しく暮らす国政。ソリが合わないはずなのに、なぜ

か良いコンビ。そんなふたりが巻き起こす、ハチャメチャで痛快だけど、どこか心温まる人情譚!

## ★福島第一原発収束作業日記 3.11からの700日間



ハッピー/著

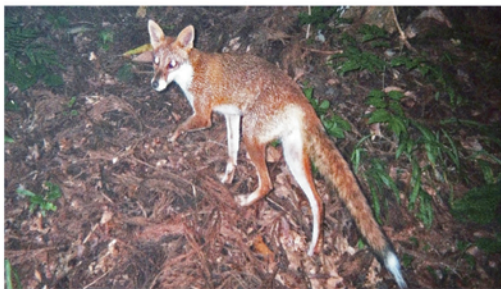
(河出書房新社)

あの時、何が起きていたのか?今、何が起きているのか?現場作業員による3・11からの「生」の手記。

雪の上に動物の足跡を探してみましよう!

## ホンドギツネ (学名: *Vulpes vulpes japonica*)

[イヌ科 キツネ属]



キツネは、誰でも名前を知っている馴染みのある野生動物ではないでしょうか。しかし、夜行性の動物であるため、自然が豊かな只見町でも、実際にその姿を目にすることはそう多くはありません。

ホンドギツネは、頭胴長60~75cmほどの大きさで、他のキツネと同様に長い尾が特徴的です。写真は三石神社の森にすむキツネです。9月に撮影されたもので、スマートでりりしく見えます。本州から九州まで生息しており、世界的に広く分布するアカギツネの亜種とされています。ネズミや鳥類、昆虫など主に小型動物を食べますが、果実類などを食べることもあります。

そんなキツネをより身近に感じられる季節が冬です。それは、雪の上に足跡が残るからです。キツネの足跡はタヌキやイヌに似ていますが、たて長で、肉球が小さいのが特徴です。また、肩幅が狭いため左右の足跡がほぼ一直線上に並びます。前足を置いたところに後ろ足を重ねて置くので、前後の足跡が重なって見えます。キツネの足跡を追えば、どこから来て、どこへ行ったのか、キツネのくらしがわかるかもしれません。ぜひみなさんもキツネの足跡を探してみてください。

企画展示

只見の自然に生きる!  
只見町の野生動物とその生態

期間 10月12日(土)~12月28日(土)まで

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

只見町に生息する野生動物とツキノワグマを生態や人との関わりについて解説パネルなどで紹介します。上のような只見町で撮影されたセンサーカメラの写真も豊富に展示しています。剥製や頭骨、関連書籍などもあります。お問い合わせの上、ぜひご来場ください。

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています



すずき ひなの  
鈴木 雛乃さん(只見)



ほし ゆずは  
星 柚子葉さん(二軒在家)



よこた みゆ  
横田 心結さん(大倉)

虫歯のない子  
  
 (11月19日)  
 3歳児健診